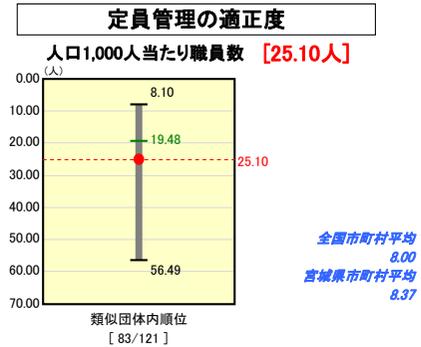
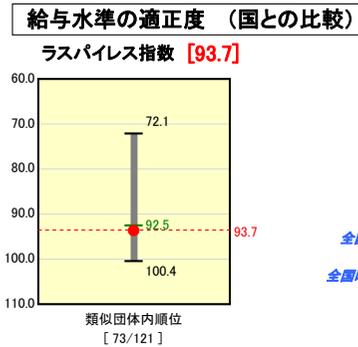
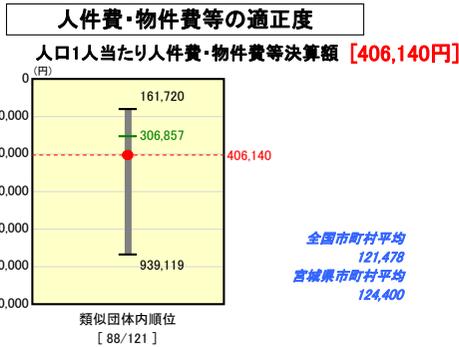
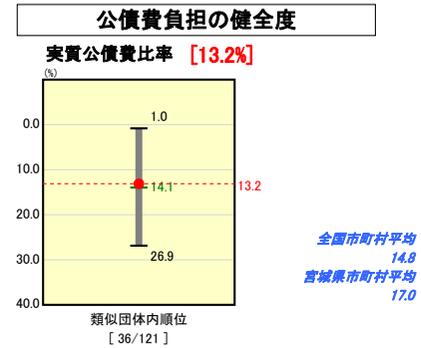
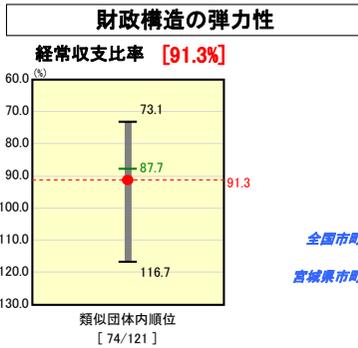
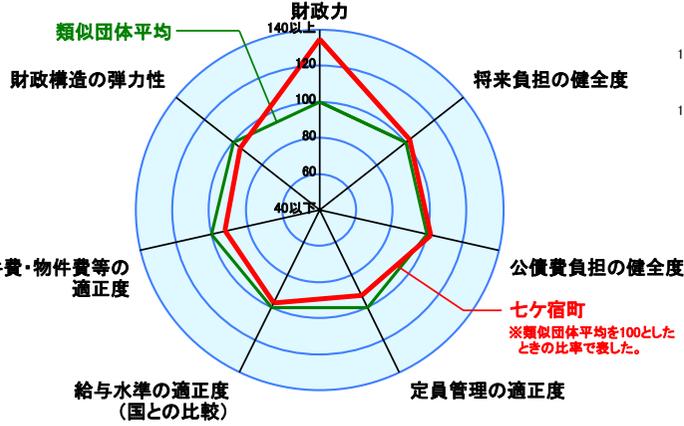
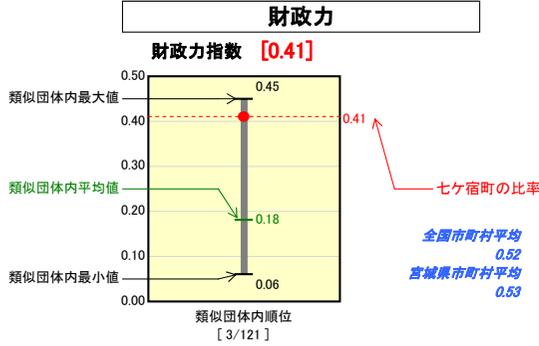


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

宮城県 七ヶ宿町

人口	1,912	人(H18.3.31現在)
面積	263.00	km ²
歳入総額	2,276,765	千円
歳出総額	2,187,969	千円
実質収支	44,900	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

■財政力指数

・ここ数年で僅かながら連続した伸びとなっており、類似団体平均を上回る0.41となっている。七ヶ宿ダムを所在することによるダム所在市町村交付金が432百万円と基準財政収入額の大半を占めていることが、類似団体平均を上回る要因となっている。

■経常収支比率

・歳入における経常一般財源の状況を平成16年度と比較しても、2.7%程度減額となっており、歳入総額でも0.8%の減ではあったが、経常収支比率は平成16年度から1%下回る91.3%となった。今後、事務の効率化、民間委託、指定管理者制度導入により、経常経費の削減に努め、類似団体を下回る事を目標とする。

■人口1人当たり人件費・物件費

・類似団体平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっているが、スキー場運営等民間でできるものは、指定管理者導入を推進し、人件費の抑制に努めている。

■ラスパイレス指数

・平成10年度をピークに職員給与は減少しているものの、ラスパイレス指数を見ると類似団体を1.2上回っている状況である。今後は給与構造改革、定員適正化計画に基づき、より一層の適正化に努める。

■人口1人当たりの地方債現在高

・近年大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体を僅かに下回っているが、今後予定されている教育施設の耐震化事業や緊急性や必要性の高い事業を予定しており、一時的に類似団体を上回ることも予想されるが、新規地方債の発行抑制に努める。

■実質公債費比率

・類似団体平均を下回っているものの、学校関連施設の耐震化事業により、一時的に上昇することも懸念されるが、地方債発行額2億円の上限設定を今後も継続し、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

■人口1,000人当たり職員数

・類似団体を6.2人上回っている。指定管理者導入の外部委託を図り事務事業を削減し、また、退職者不補充等により、職員の削減を図る。